

学校教育目標「みんな仲間だ ひびきあう 旭の子ども」

重点目標「温かい聴き方・やさしい話し方をしよう」「進んで元気にしよう」



ひびきあう子

伊東市立旭小学校

4月号

令和2年4月6日発行

文責：力石 真弓



笑顔あふれる学校に

校長 濱村 幸美

温かな春の光が旭山に降り注ぎ、色鮮やかな新緑が目にもぶしい季節になりました。保護者の皆様には、昨年度末から継続的に新型コロナウイルス感染症の防止対策にご協力をいただき、ありがとうございました。おかげ様で、どうにか学校再開を果たし、令和2年度の旭小学校をスタートさせることができました。

しかし、年度は改まったものの、感染者数は増加の一途をたどっております。また、著名人の罹患が次々に報道されるので、ご家庭の不安も日ごとに増しているのではないのでしょうか。だからこそ、学校を再開した以上は、子どもたちが安心して楽しい時を過ごせる安全な学校になるよう努めなければなりません。

そこで、今年度は**学校経営目標を「笑顔あふれる学校」としました。**

右にお示しした「笑顔あふれる学校」を実現するために、私たち教職員は情熱と使命感をもち、子どもたちに温かく関わっていきます。また、私たちが成長すれば、きっと子どもたちも成長してくれると信じ、切磋琢磨して力を高めていきます。さらには、保護者や地域の皆様との信頼関係を築き、連携して子どもたちを育ていけるよう誠実に対応していきます。

一方、子どもたちの成長に関しては、昨年度と同様、**学校教育目標「みんな仲間だ ひびきあう 旭の子ども**（目標に向かい仲間と磨き合い、高め合う子・意

欲をもち、仲間と助け合い、最後までやり抜く子・元気なあいさつを交わし合い、仲間を思いやる子）」の実現を願い、教育活動を展開していきます。

「千里の道も一歩から」と言いますように、子どもたちの成長や向上、改善を一足飛びに実現するのは大変難しいです。そこで本校では、1年を5つのステージに区切り、ステージごとに設定しためあての達成を目指す継続的・発展的な取組を通し、ステージを重ねるごとに力が伸びていくよう指導していきます。

さて、ここまで学校経営や子どもたちの成長にかける思いを綴ってきましたが、何よりも優先されるのは、子どもたちの健康と命を守ることです。今後実施される取組においても、「3密（密閉・密接・密集）」を避けるためには、多くの変更が余儀なくされます。保護者の皆様が楽しみにしている学校行事においても、健康・命を守るためには、あえて変更や縮減を断行しなければなりません。

是非ともご理解をいただき、「笑顔あふれる学校」づくりにご協力をお願いいたします。

目指す学校像「笑顔あふれる学校」

- ・子どもたちが自分らしく生き生き活動できる活力ある学校
- ・子どもたち一人一人の心の居場所がある温かい学校
- ・きれいで、子どもたちが安心して生活できる安全な学校
- ・信頼を基盤に家庭や地域と連携できる学校